

悠遊会

第9回 広島・宮島編

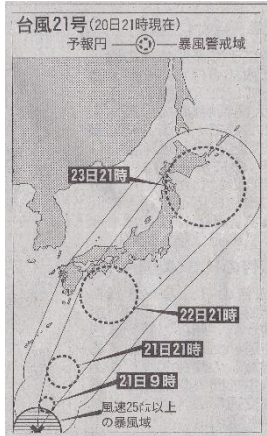
平成29年10月21日(土)~23日(月)

21日、雨、1300 呉駅集合

10月16日に発生した台風21号の影響を受ける日程に…

結果的には、幸いにもやや強いにわか雨程度で…ズボン裾はびしょびしょに

カメラ操作もままならず掲載写真、天気良ければのものに



最初は旧海軍兵学校見学
早速、江田島行の乗り場へ



デカッ!!
さすが、海軍の町!!



呉港に向かう途中、まず、目についたのが、「てつのかじら館(海上自衛隊呉資料館)」

海上自衛隊/江田島地区



早着も、見学時間まで、入門を20分以上待たされることに…

旧海軍兵学校
旧海軍兵学校は、明治21年に東京・築地から移転して以来、イギリスのダートマス、アメリカのアナポリスと並んで世界三大兵学校と称され、海軍将校養成の基地として、若い人の憧れを集めてきました。現在では、海上自衛隊の幹部候補生学校や第1術科学校などになっています。





大講堂

鉄骨煉瓦石造の大講堂は大正6年（1917年）に兵学校生徒の入校式、卒業式また精神教育の場として建築されました。外壁には瀬戸内海産の花崗岩を使い、内部はほぼ吹抜けとなっており、約2,000名の収容能力があります。現在も幹部候補生等の儀式に使用しております。



ここは初めて！！
珍しい！床が石畳とは…



赤レンガ

通称「赤レンガ」と呼ばれている幹部候補生学校庁舎は、日清戦争の前年、明治26年（1893）に海軍兵学校生徒館としてその生活、教育のため建築されました。設計は、イギリス人建築家によるもの、屋根は建築当初は日本瓦葺でしたが、明治38年の安芸灘地震後にスレート葺とされました。



教育参考館

ギリシャ神殿風の鉄筋コンクリート造の2階建てのこの教育参考館は、先輩の偉業を偲び、「温故知新」によって自己修養と学術研鑽の資とするため、兵学校卒業生の積立金及び一般企業等の寄付をもって、昭和11年（1936）に建築されました。戦前約4万点の歴史的資料が保存されておりましたが、終戦時、一部の貴重な資料を厳島神社、大山祇神社等に奉納した他は、進駐軍による没収を恐れ焼却処分とされました。

江田島クラブ（見学者控室）



宿泊 KKR 広島



宿到着後、名物“お好み焼き”で一杯と市電に乗り、八丁堀（繁華街）へ“美味しかった、満足！！”
戦後、母さんがメリケン粉を溶かし、鉄板で焼いたのが、広島風の始まりとか…そのため、女性名の店が多いそうだ。“ふみちゃん”“ゆみちゃん”“りえ”…

帰宅・入浴後は、酒盛り、懇談に…



22日、雨、広島・宮島の1日観光バス



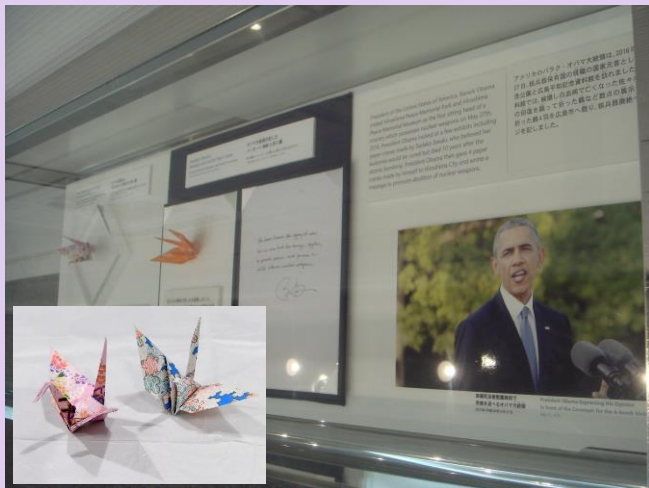
最初の案内は、広島城（雨中の車窓から）



最初の下車観光は、世界遺産・原爆ドーム～平和記念公園



資料館にて 左：オバマ大統領の折り鶴 右：広島生変図（陶壁画）の前で



久保田教官、いつもご参加、ありがとうございます。

被爆建物 右は広島陸軍被服支廠（現在名旧日本通運出汐倉庫）
現在、爆心地から半径5km以内には、原爆ドームをはじめ86件の被爆建物が残り、被爆の痕跡を今に伝えている。その一つ



世界遺産・厳島神社／宮島（日本三景）

広島港から高速船にて宮島へ
船内で“清盛むすび”弁当で昼食



厳島神社（世界遺産 1996年）

12世紀に時の権力者である平清盛の造営によって現在見られる壮麗な社殿群の基本が形成されました。この社殿群の構成は、平安時代の寝殿造りの様式を取り入れた優れた建築景観をなしています。また、海上に立地し、背景の山容と一体のなった景観は他に比類がなく、平清盛の卓越した発想によるものであり、彼の業績を示す平安時代の代表的な資産のひとつです。



宮島は、3時間の島内自由散策
雨では、1時間以上も持て余し
フェリー乗り場で時間つぶしに…
今回で、第4回の松島、前回の天橋立と
“日本三景”を制覇！！



宮島口から広島駅へ
バスシートはもみじ柄

年相応に物忘れ
傘の置忘れ 雨なのに…
携帯持参忘れ 自宅に ホテルにと
手荷物の取り忘れ コインロッカーに
全員が、夫人同伴も？ などなど



参加者紹介

佐々木・田中丸/埼玉



水上/福井

幸田/埼玉

辻/石川

此本/宮崎

久保田教官/東京

吉川幹事/埼玉



懇談は終始和やかに、間断なく、反応早く、笑いの渦も頻繁に、近況ではそれぞれの活躍・元気さを披露、楽しさを満悦したひと時でした。



市内在住の綿貫君(7区隊)が特別参加 被爆の数々の話がありました。



23日、晴、朝食後、自由解散

次回は東京 平成31年 幹事は幸田君

吉川幹事
ご苦労様でした!!

悠遊会